

教科名	地歴	科目	日本史（理系）	単位	2単位
-----	----	----	---------	----	-----

1. 教科書及び副教材・参考書

改定版 日本史A（山川出版社）

2. 授業の目標および内容

授業の範囲は幕末期後半以降の日本近現代史を中心に扱う。この間に起きた欧米列強との接触を通して、あるいは西洋近代主義との遭遇に際して、我が国が歩んだ歴史の総体は、文明論的にも思想的にもそして歴史学においても非常に動的で複雑である。混乱を最小限に減じてその内容を整理するために、知へ接近は社会科学的見地と人文科学的見地とのバランスに配慮しながら学習する。実証的に得られている歴史的事実を学び、それらの連続によって解釈される歴史的事象を分析した上で考察する。特に、歴史的事象の分析と考察の過程では、授業内活動を行うが、その内容の選択と集中を行い適切な質と量を保つ。このことによって、精選された歴史的知識の習得し、多角的・多面的な視野の獲得を行う。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 10 月	二次 12 月	期末 3 月
学力試験	実施しない		実施しない		実施しない

内容・難易度について

- ①定期試験：100 点満点で出題します。出題内容は教科書の内容を基本とし、出題範囲は授業進度および内容を考慮し、毎回指示します。少量の文章記述式問題を課し、分析力と考察力並びにその表現力も問います。
- ②学力試験：実施しません。

4. 課題・補講について

課題は授業中必要に応じて、その都度指示する。

5. 評価の観点

定期試験を中心に、授業への姿勢・授業内活動への取り組みなど、様々なものを総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	日本の開国～日清・日露戦争前後期	まず、江戸時代後期における幕府の動揺を経過した日本が欧米列強の進出を受けて、急速な対応を迫られた様子を学習する。次に東アジアにおいて、欧米の思想を取り入れた新たな秩序の中で存在しようとし、様々な障壁と軋轢に揺れた事態を学習する。	重要な政治史を中心として、その背後にある経済史・土地制度史を補完的に学習します。
2	明治末期～大正期	東アジアにおいて大きな位置を占めることになると同時に、前近代の継承と本質的近代化との間で動揺する日本の姿を学習する。	重要な政治史を中心として、第一次世界大戦による思想潮流の変化や明治初期の中心人物の世代交代の影響を補完的に学習します。
3	昭和初期～第2次世界大戦前後期	開国と明治維新以来に生じた様々な国際関係と、明治以降の日本の近代化された多くの構造の収束を整理し、第二次世界大戦と戦後日本との様々な因果関係を学習する。	国際政治と国内政治の因果関係と時代関係に留意しながら、政治史を中心として学習します。